

# EF15形 直流電気機関車

発売時期

2020年夏 発売予定

予価

カンタム・システム搭載 各68,000円+税  
カンタム・システムなし 各53,000円+税



72031 72531 EF15形 標準型 関東タイプPS14パンタグラフ

72038 72538 EF15形 最終型 上越タイプ

写真は試作品です。

貨物用電気機関車EF15形は、旅客用のEF58形と並び、旧型電機の雄。10年以上に亘り、202輛が製造されたため、形態差異も様々です。標準型と呼ばれるタイプは1952年から1957年に製造されたグループですが、同時期に製造された車輦でもメーカーによって形態差がありました。最終型は1958年製造グループで、前面窓と側面窓の中央3枚がHゴム支持になっているのが主な特徴です。

模型はリアルなサウンドが楽しめるカンタム・システム搭載モデルに加え、ダイキャスト製モデルとしては初のカンタム・システム非搭載もラインナップしました。

## ダイキャスト製 EF15形 標準型 仕様一覧

品番	品名	仕様							付属ナンバー	特徴
		パンタグラフ	避雷器	前面窓	ワイパーアーム	モニター窓	排障器/スノーブロー	排障器/スノーブロー		
72030	標準型 東海道・山陽タイプ (ATSなし)	PS14 銀+黒	LA12	原形	シングル上取付	バテ止	排障器 台枠取付	74 三菱/新三菱 86 三菱/新三菱 112 東芝	6~9次車。ATSを搭載していない1960年(昭和35年)~1964年(昭和39年)の姿。	
72031	標準型 関東タイプ PS14パンタグラフ	PS14 銀+黒	LA15	原形	シングル上取付	バテ止	排障器 先台車取付	62 三菱/新三菱 74 三菱/新三菱 102 三菱/新三菱	5~8次車。屋根黒色(大宮工場入場車)。宇都宮・高崎・八王子・新鶴見に配置のタイプ。	
72032	標準型 暖地タイプ PS15パンタグラフ	PS15 銀+黒	LA15	原形	シングル下取付	Hゴム	排障器 台枠取付	153 川車/川重 157 日立 158 日立	13・14次車。屋根茶色。当初広島配置→1970年代終盤、東京・電筆へ。常磐線無線アンテナ付属。	
72033	標準型 上越タイプ PS14パンタグラフ	PS14 軽量ホーン 銀+黒	LA15	Hゴム改造	ダブル	バテ止	スノーブロー	72 川車 76 東洋/汽車 100 川車/川重 106 東洋/汽車	6~8次車。デフロスター付。屋根黒色。上越線の他、晩年は一部が甲府。	
72034	標準型 上越タイプ PS15パンタグラフ	PS15 軽量ホーン グレー	LA15	Hゴム改造	ダブル	Hゴム	スノーブロー	137 東芝 154 川車/川重 159 東芝	12~14次車。デフロスター付。屋根黒色。パンタグラフの干渉を避けるため、前照灯が前方にせり出ている。	

\*仕様は予告なく変更する場合があります。

## ダイキャスト製 EF15形 最終型 仕様一覧

品番	品名	仕様							付属ナンバー	特徴
		パンタグラフ	避雷器	前面窓	ワイパーアーム	側窓Hゴム	モニター窓	排障器/スノーブロー		
72035	最終型 東海道・山陽タイプ (ATSなし)	PS15 銀+黒	LA13	黒Hゴム	シングル下取付	黒	Hゴム	排障器 台枠取付	168 日立 194 川車/川重 199 東洋/汽車	15次車。ATSを搭載していない1964年(昭和39年)までの姿。浜松以西に配置。
72036	最終型 関東タイプ	PS15 軽量ホーン グレー	LA15	黒Hゴム	ダブル	黒	Hゴム	排障器 先台車取付	177 東芝 187 三菱/新三菱 195 川車/川重	15次車。屋根黒色(大宮工場入場車)。宇都宮・東京・新鶴見・甲府に配置のタイプ。常磐線無線アンテナ付属。
72037	最終型 暖地タイプ	PS15 グレー	LA15	白Hゴム	シングル下取付	黒	Hゴム	排障器 台枠取付	178 東芝 180 東芝 181 東芝	15次車。屋根茶色。山陽地区から電筆・首都圏へと転属。常磐線無線アンテナ付属。
72038	最終型 上越タイプ	PS15 軽量ホーン グレー	LA15	黒Hゴム	ダブル	白	Hゴム	スノーブロー	163 日立 165 日立 191 川車/川重	15次車。デフロスター付。屋根黒色。

\*仕様は予告なく変更する場合があります。

\*カンタム・システム非搭載モデルに後からカンタム・システムを搭載することはできません。

\*カンタム・システムの音源はEF58形のものを使用しています。